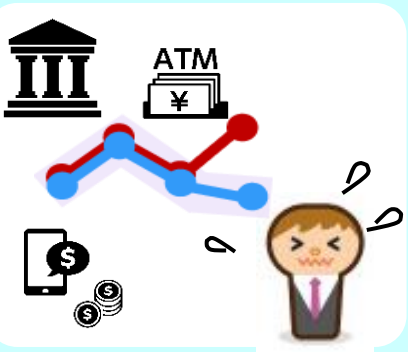
業種別活用事例　【金融・保険業】

System Answer シリーズ

金融・保険業でのよくある課題

◆銀行 & 生保の場合
電子決済の品質維持のため、DC 内のコアネットワークと WAN ネットワーク（全国拠点・支店）のサービスレベルを常時管理しながら、運用しなければならない。

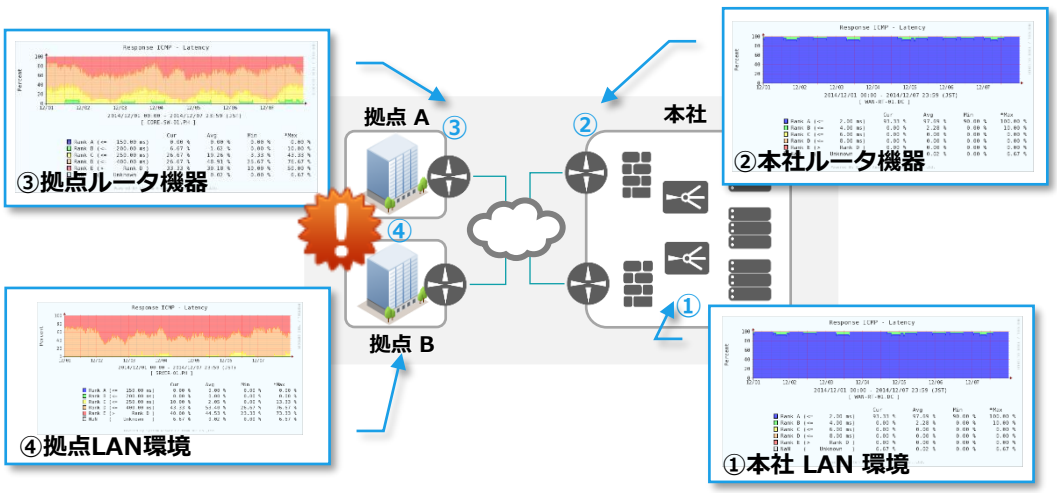
◆証券 & FX の場合
遅延の許されない電子金融取引の実現と IT による顧客利便性向上のため、日 / 週 / 月ごとの業務ピーク時の状態と過去の状態とを照らし合わせ、比較分析する必要がある。



通信量把握での**素早い切り分け・最適なサイジング**も可能

効果　拠点間通信量を把握、いち早く切り分け可能

・本社（データセンター）から各拠点間のトラフィック量 / レスポンスを把握し、遅延箇所がないか瞬時に判断可能です。
・遅延発生時には、ボトルネックとなっている機器の切り分けをレイテンシー機能にて把握することができます。



《ネットワーク遅延指標例》
レイテンシー分析
ランク設定の活用

RankA	早い
RankB	少し早い
RankC	まあまあ早い
RankD	少し遅い
RankE	遅い
NaN	通信断

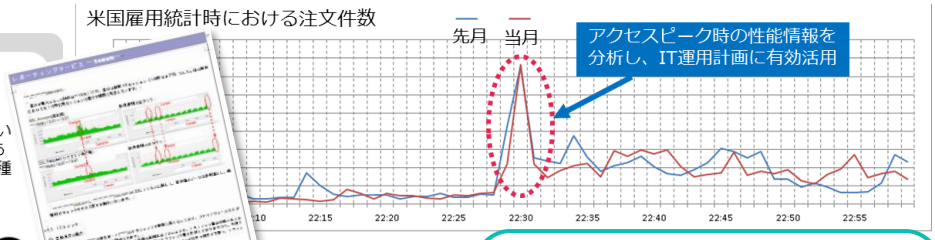
効果　最適なサイジングでの設備投資

月次で性能分析をすることにより、前月比較、前年比較の調査をおこなえるようになり、設備投資の根拠材料として活用できます。

■システムA
実施したSV増強によって負荷改善ができ処理性能が大幅UP

■システムB
アクセスピーク時に処理待ちが発生しており、増強及びチューニングが必要

■ネットワーク機器
セッション数増加に伴いFWが負荷上昇傾向にある。半年後には上位機種への更改が必要



User's Voice
機器の追加・増設などが頻繁に発生する。従来の監視では、「監視の追随」に膨大な工数が発生していた。
マルチ機器を対象に、欲しい情報がすぐさま手に入るSystem Answerシリーズは運用に不可欠な製品となっています。
By.金融A社様

GMOフィナンシャルHD YJFX! from YAHOO! JAPAN

業種別にお客様事例をご紹介
https://system-answer.com/case/

OIS Okasan Information Systems Co.,Ltd.

and more...!

業種別活用事例　【製造・流通業】

System Answer シリーズ

製造・流通業でのよくある課題



◆ 本社と拠点（工場）をつなぐネットワーク品質

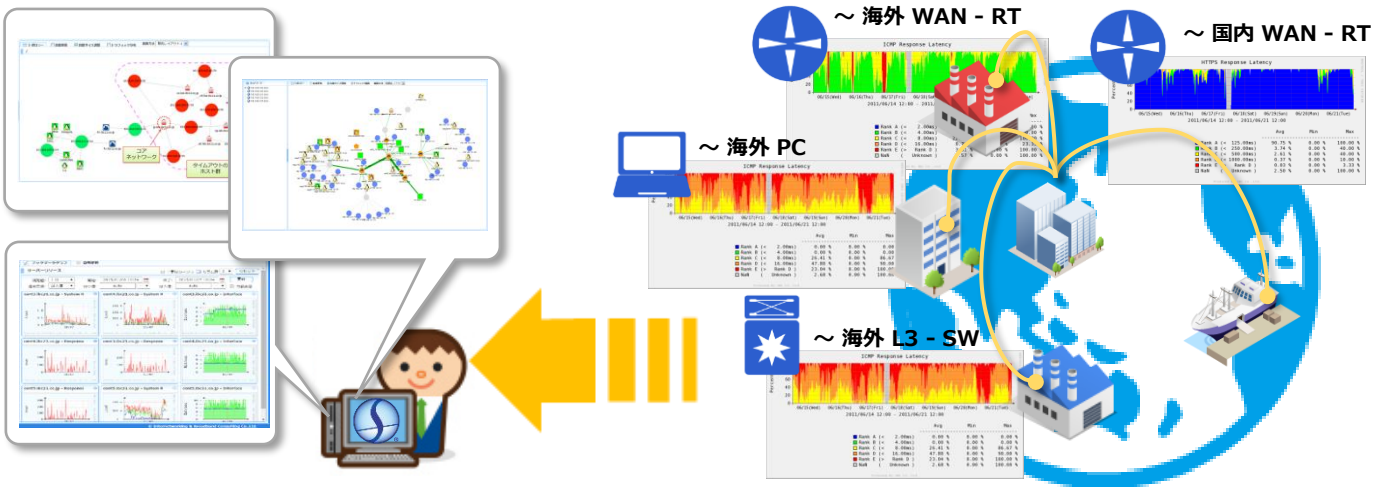
- CAD、工程管理システムなどの基幹システムのほか、各種業務システムも乱立しているため、管理方法の違いから有事の際に切り分けが困難である。
- 数が膨大であるため、各拠点のどこがネックになっているのか、どこを優先して増強するべきなのかがわからない。

◆ 最大負荷を想定したキャパシティプランニング

- 各拠点現場から同時刻にアクセスが集中するため、CAD、工程管理システムのデータの読み取り遅延が発生した。各拠点よりクレームがよせられているが、投資するポイントがわからない。

一元管理でネットワーク全体を把握
ピーク時に備えた最適な設備投資

効果　工場を含むネットワーク全体の一元管理で通信品質が向上

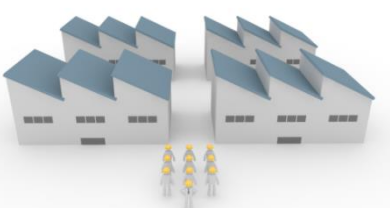


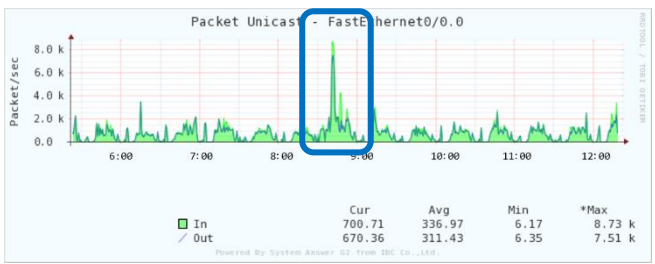
- 国内 ⇔ 国外、国内 ⇔ 国内の品質状況（トラフィック量やレスポンス状況）を一元管理し、ボトルネック箇所を特定することができた。
- 製造業特有の比較的大きく、特定時間に集中するパケット（CAD、工程管理システム）の数量を収集することで、周期性を把握可能。レスポンスの維持・向上を実現することができた。

効果　ピーク時の負荷状況の把握

ピーク時の状況を詳細に把握







- ピーク時（始業時間、新たな生産ラインの稼働）の性能データを詳細かつ長期にわたり収集可能。ピーク時にも品質を落とすことなく、最適な設備投資をおこなうことができた。
- 現場の作業を第一優先としたシステム運用が可能になった。

EBARA　TERAOKA　MITSUBISHI POWER　NOSAN

業種別にお客様事例をご紹介
https://system-answer.com/case/

TRUSCO PRO TOOL

ヤマトシステム開発株式会社
TATSUNO

業種別活用事例　【病院・医療】

System Answer シリーズ

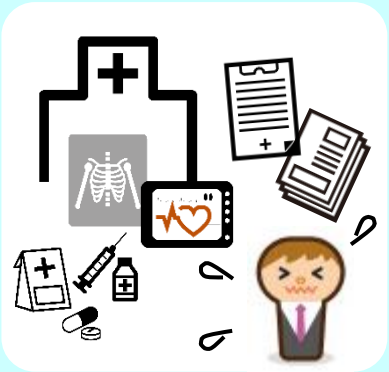
病院・医療現場でのよくある課題

◆止められないシステム

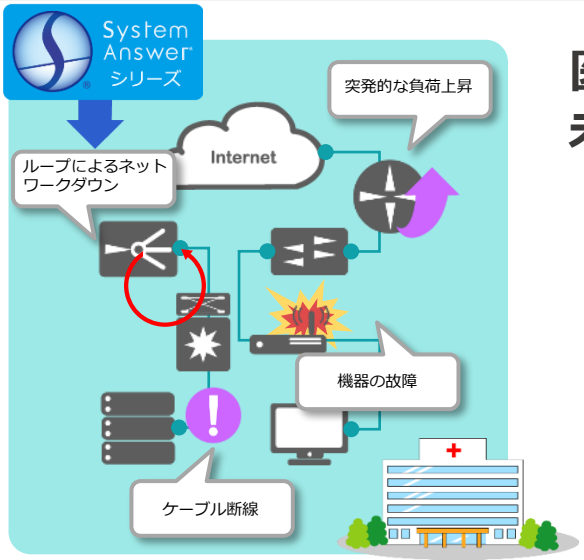
医療情報システムにおいて、システムの稼働品質の維持・向上は診療・治療活動の安定につながる重要な課題です。
システム担当者はシステムの停止 / 遅延をさせることなく、快適なレスポンスでサービスを提供することが求められます。

◆電子カルテや各医療システムの安定稼働

電子カルテシステムや無人会計システム、薬剤提供システム、番号表示システムなど、医療用のパッケージやソリューションも増加しています。



業務への影響が甚大なネットワーク障害を防止



医療ネットワークの障害を未然検知・早期対応

効果

■必須機能 1■
装置の稼働・性能監視

■必須機能 2■
障害場所の通報
予兆の検知・ログ・イベント送信

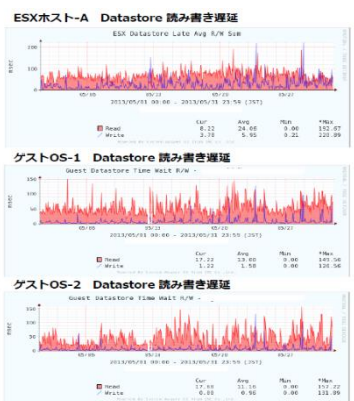
■必須機能 3■
迅速な調査とオンサイト復旧
定期的なレポート

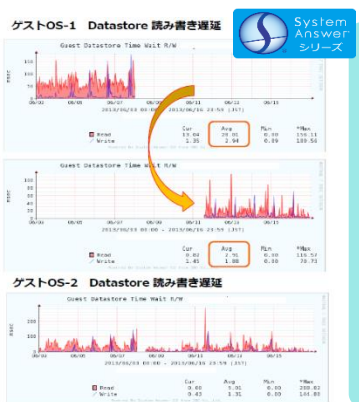


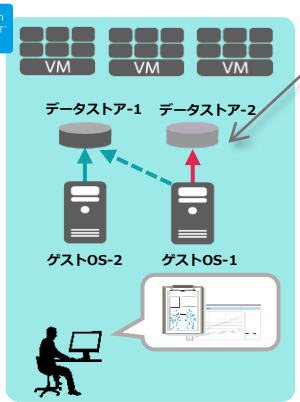
効果

仮想基盤運用における医療システムの安定稼働

仮想基盤上の電子カルテや医療事務システムなどの可視化と最適なチューニングにより医療情報システム全体の安定稼働が実現！







CPU やメモリを増強しても解決しなかった処理遅延の原因が、ディスク IO の問題であることが判明。

TOYOU

業種別にお客様事例をご紹介
https://system-answer.com/case/

and more...!

業種別活用事例　【教育・学習支援業】

System Answer シリーズ

教育・学習支援業でのよくある課題

◆オンライン授業の実施に際して

「ネットワーク環境の整備に問題はないのか？」
「安定した環境を提供し続けることが出来るのか？」
など、オンライン授業を実施していく上での不安が多い。

◆GIGA スクール構想の実現に向けて

「児童・生徒一人ひとりにデバイスを持たせる」と
言われてもどのように管理すれば良いのかわからない
など、具体的に何をすればいいのか見当がつかない。



オンライン授業

一人一台



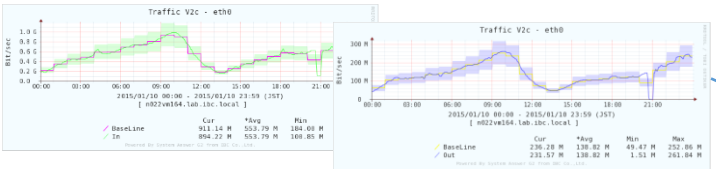
GIGA スクール構想



教育現場特有の課題も解決！



効果　安定したオンライン授業の提供が可能に！





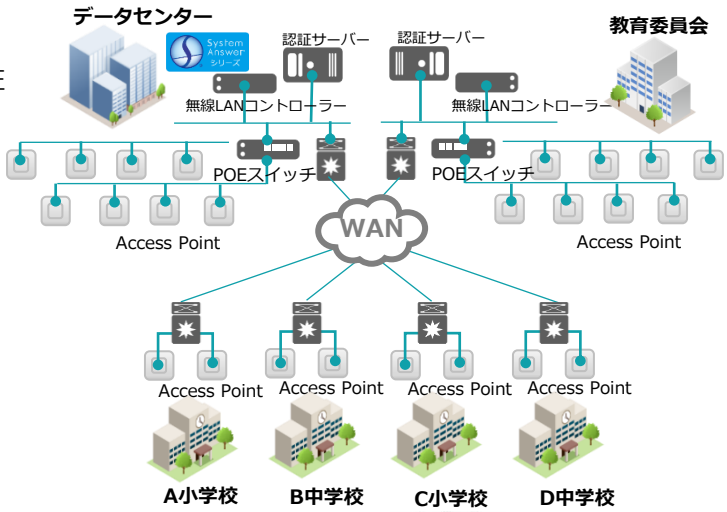
・各授業ごとのトラフィック量を算出し**「どの授業で」「どのくらいのトラフィック量を使用しているか」**現状を把握することができた。

・ベースラインを活用することで授業単位ごとに**「いつも通りか？」「支障はあるか」を分析**し、トラブル予兆の検知、性能データの推移予測が可能になった。

効果　GIGA スクール構想にも対応！
各学校の一元管理、高品質な管理を実現

・タブレット端末普及における無線環境の整備において、「無線 LAN コントローラ」「認証サーバ」「PoE スイッチ」「アクセスポイント」など、関連する機器を一元的に監視することで問題の切り分けや、傾向分析により最適なサイジングを実現できた。

・各無線 AP 毎の「接続数」「トラフィック量」を取得し利用状況や接続状況を見える化することで、ICT 関連の安定稼働が実現できた。



監視対象	
PoE L2 スイッチ	L3 スイッチ
無線 LAN コントローラー	
認証サーバー	

大阪国際大学
大阪国際大学短期大学部

業種別にお客様事例をご紹介
https://system-answer.com/case/

and more...!

業種別活用　【公務】

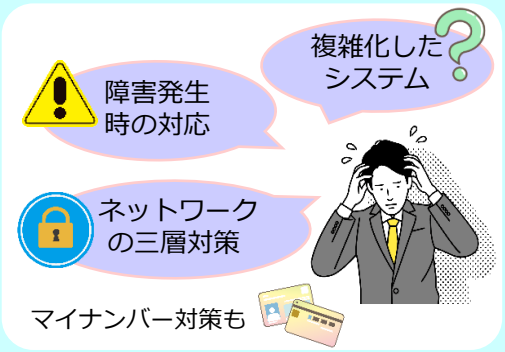
System Answer シリーズ

自治体でのよくある課題

【課題 ①】
「ネットワーク三層対策」の見直しが必要である。

【課題 ②】
障害発生時の問題を切り分ける作業に時間がかかる。

【課題 ③】
情報基盤が複雑化し、最適化ができていない。



「自治体 DX 推進計画」対策にも！

誰にでも分かりやすい GUI でシステム全体を把握

IT の専門家ではない方にも分かりやすい！

「ネットワークの三層対策」によって増す、ネットワークシステム性能把握の重要性

【課題】
個人番号利用事務系、LGWAN接続系、インターネット接続系の三層対策により複雑化したネットワークに繋がる対象機器の通信量ならびにリソース状況の監視の必要性が増した。
容量不足や想定外の通信増加により遅延が発生する可能性がある。

【解決】
トラフィックや機器の負荷状況を詳細かつ鳥瞰的に収集することができる為、システムのトラブルを未然に対処できた。

■通信量の確認による
レスポンス管理



根拠ある問題切り分け　～問題切り分け判断の迅速化による住民サービスレベルの向上～

【課題】
サーバー群をデータセンターへアウトソーシングしている。遅延などの事象発生時にアウトソース設備での問題なのか、ネットワークの問題なのか、庁内の問題なのかを切り分ける作業に時間がかかる。

【解決】
庁内管理システムはもちろん、アウトソーシング先の機器も一括して把握することができる。どこで・なにが・いつ おこっているのかを容易に把握することができ、問題きり分けの時間が短縮した。住民へのサービスレベル向上につながった。



コストの削減と品質の向上　～ 複雑なシステムを見える化し、コストと品質を両立 ～

【課題】
住民へより良い行政サービスを提供する為に、情報基盤整備を進めてきたが、利用形態の変化に伴い稼働頻度の低い設備が存在している。

【解決】
システム全体の稼働状況やパフォーマンスを把握することにより、稼働率の低い機器をあぶり出し整理することが可能に。稼働率の低い機器の見直しにより浮いたコストを、現在必要な設備増強としてあてることができた。

千代田区 Chiyoda City

業種別にお客様事例をご紹介
https://system-answer.com/case/

and more...!